

令和8年度

学習シラバス

第3学年

(年間の学習内容とねらい)



鴻巣市立鴻巣南中学校

第3学年 「国語」

1 学習の目標

- 自分の考えを、目的や場面に応じて話したり聞いたりできるようにしよう。
- 自分の考えを、しっかり表現できるようにしよう。
- 様々な文章を読んで、内容をしっかりつかめるようにしよう。

【知識・技能】

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。

【思考・判断・表現】

- 論理的に考える力や深く共感したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 言葉がもつ価値に気付くとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

2 評価の観点・方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる態度に概念等を理解したり、技能を取得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等) (2)情報の扱い方に関する事項 (情報と情報との関係、情報の整理等) (3)我が国の言語文化に関する事項 (伝統的な言語文化、書写等)	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・パフォーマンス課題 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・パフォーマンス課題 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・その他の2観点の学習状況

3 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を捉え、自分なりの問いをもち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に入る前には、教材文をくり返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。

4 学習計画 (A: 知識・技能 B: 思考・判断・表現)

	各単元と主な内容	学習のねらい
一 学 期	<p>1 深まる学びへ 世界はうつくしいと(AB) 握手(B) 意見を聞き、適切さを判断する 文法への扉1 「走って」いるのは誰?(A) 説得力のある構成を考えよう 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い(AB) 学びて時にこれを習ふー「論語」から(AB)</p> <p>2 視野を広げて 作られた「物語」を超えて(B) 思考のレッスン 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書こう(B) 漢字1 熟語の読み方</p> <p>3 言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう(AB) 言葉の釣り糸を垂らす 言葉2 和語・漢語・外来語(A)</p> <p>書写 硬筆展覧会にむけて(A) 行書・行書と仮名の調和 読書生活を豊かに 「私の一冊」を探しにいこう 本の世界を広げよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の工夫に注意して、筆者の自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・表現の工夫、設定の仕方などを捉え、作品を理解する。 ・人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価する。 ・説得力のある構成の仕方について確認する。 ・語句に関する知識を広げ、読んだり使ったりする。 ・筆者の論理の展開の仕方を捉えて評価する。 ・文章を読む際、具体と抽象の関係についてどのようなことに注意すべきかを確認する。 ・文の順序や構成の理解を深め、生活の中で生かす。 ・俳句を読み味わい、俳句の世界に親しみ、俳句を作る。 ・硬筆展覧会にむけての作品づくりに取り組む。 ・時間の経過により変化した言葉や世代による言葉の違いを理解し、分かりやすい説明になるように構成を工夫して書く。 ・和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語彙を豊かにする。 ・目的を持って本を読み、文章を評価し、考えを広げたり深めたりする。
二 学 期	<p>4 状況の中で 挨拶—原爆の写真に寄せて(AB) 故郷(B) 論理の展開を考える 言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語(A) 聞き上手になろう 漢字2 漢字の造語力(A)</p> <p>5 自らの考えを 複数の意見を読んで、考えよう 考えを効果的に伝えよう 文法への扉2 「ない」の違いがわからない? 聴きひたる 初恋</p> <p>6 いにしへの心を受け継ぐ 和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序(AB) 君待つと—万葉・古今・新古今(AB) 夏草—「おくのほそ道」から(B) つながる古典/古典名作選(AB)</p> <p>7 価値を生み出す それでも、言葉を(AB) 漢字3 漢字のまとめ 話し合いを効果的に進めよう 合意形成にむけて話し合おう 本は世界への扉 書写 書きぞめ展覧会にむけて(A) 行書・行書と仮名の調和、身の回りの多様な文字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や語句の効果に着目し、人間や社会について考える。 ・人間と社会との関わりについて考え、自分の意見を持ち、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、使うことができる。 ・詩の表現の工夫に注意し、社会などへの自分の考えを持つ。 ・「批判的に読む」ことは、どういうときに必要かを自分の意見を考える。 ・合意形成をするために必要なことを理解する。 ・冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。 ・歴史的な背景に注意し、昔の人の心情や情景を読み味わう。 ・歴史的な背景を想像し作者の感じ方を読み取り、古典に親しむ。 ・古典作品についての文章を読み、考えを深め古典に親しむ。 ・筆者の主張を捉え、表現の仕方を評価し自分の考えを持つ。 ・社会生活で関心のある事柄を決め、説得力のある文章を書く。 ・二年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・目的を持って本を読み、知識を広げ自分の考えを深める。 ・書きぞめ展覧会にむけての作品作りに取り組む。 ・毛筆、文字の大きさ、字形、配列、行書の書き方を理解する。
三 学 期	<p>8 未来へ向かって 温かいスープ(B) アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで(AB)</p> <p>三年間の歩みを振り返ろう(AB)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の可能性や困難、生き方について考え、意見を持つ。 ・詩の語句の使い方に注意し、人間や社会について考える。 ・二年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字を読み、適切に使い慣れる。 ・三年間の学びを振り返りながら、自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。

第3学年 「数学」

1 学習の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。

- 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形できるようにする。
- 正の数の平方根について理解し、それを用いることができるようにする。
- 二次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。
- 具体的な事象の中から二つの数量を取り出しそれらの変化や対応を調べることを通して関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察できるようにする。
- 図形の性質を三角形の相似条件を基にして確かめ、論理的に考察し表現できるようにする。
- 三平方の定理や円周角の性質について理解し、それを用いることができるようにする。

2 評価の観点・方法

【数学への主体的に学習に取り組む態度】

○ 様々な事象を数理的にとらえたり、考えたりすることに関心をもち、数学的な見方や考え方の良さを知り、それらを活用して問題を解決しようとする。

(評価の方法) 課題への取り組み方、振り返りシート、挙手・発言の様子、ノート、提出物など。

【数学的な思考・判断・表現】

○ 数学的な見方や考え方を身に付け、事象を見通しをもって論理的に考察することができる。

(評価の方法) 発言・発表、ノート、ペーパーテスト、レポート、提出物など。

【数学的な知識・技能】

○ 式の展開や因数分解、事象の数量関係や法則、三平方の定理について、数学的に表現したり処理したりする方法を身に付ける。

○ 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。

(評価の方法)

発言・発表、ノート、ペーパーテスト、レポート、提出物など。

3 学習のポイント

○ 課題について自分なりの方法で粘り強く取り組み、途中の考え方も大切にノートにまとめよう。

○ 先生や発表者の説明をよく聴き、自分の考え方と比較し、よりよい方法を身につけていこう。

○ 自分の考えた式や解き方を、人に説明できるように、言語化することを意識しよう。

○ 分からないことをそのままにしないで、その時間の中で積極的に先生に質問しよう。

○ 出された宿題は必ずやること。また、ワークブック(問題集)は毎時間持ってきて、時間のあるときに各自のペースで進めよう。定期テスト終了後には、テスト範囲までやって提出します。

○ テストの準備は、教科書の問題をできるようにすることと、ワークブック(問題集)を自分の力で一題一題いねいに解き、答え合わせをして力を付けることです。

○ 教科書、ノート、三角定規、コンパス(図形分野)など授業道具の忘れ物をしないこと。

○ まず自分の力で考えようとする事、そして途中の式や考え方をいつも書くような習慣を付けよう。学習内容を定着させるために繰り返し練習問題に取り組むことが大切です。

4 学習内容と学習のねらい

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○多項式の計算 ○因数分解 ○式の計算の利用 ○平方根 ○根号を含む式の計算 ○平方根の利用 ○2次方程式とその解き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ○式を展開することの必要性和意味を考えようとしている。 ○式を展開する方法を考えようとしている。 ○式の展開について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○式を因数分解することの必要性和意味を考えようとしている。 ○式を因数分解する方法を考えようとしている。 ○式の因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を考えようとしている。 ○根号をふくむ式の加法や減法の計算方法を考えようとしている。 ○既習の計算法則などを、根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。 ○数の平方根について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○平方根の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考えようとしている。 ○因数分解の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考えようとしている。 ○2次方程式の解き方を振り返って、よりよい方法で解こうとしている。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の利用 ○関数$y=ax^2$ ○関数$y=ax^2$の性質と調べ方 ○いろいろな関数の利用 ○相似な図形 ○平行線と比 ○相似な図形の面積と体積 ○円周角の定理 ○円周角の定理の利用 ○三平方の定理 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○関数$y=ax^2$の必要性和意味を考えようとしている。 ○関数$y=ax^2$のグラフの特徴を捉えようとしている。 ○関数$y=ax^2$の値の変化の特徴を捉えようとしている。 ○関数$y=ax^2$について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○関数$y=ax^2$を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○平面図形の相似の意味を考えようとしている。 ○三角形の相似条件の意味を考えようとしている。 ○三角形の相似条件を学習に生かそうとしている。 ○図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。 ○図形の相似について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。 ○平行線と比の定理を学習に生かそうとしている。 ○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を考えようとしている。 ○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を生活に生かそうとしている。 ○相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を考えようとしている。 ○相似な立体の相似比と体積比の関係を生活に生かそうとしている。 ○円周角と中心角の関係をみいだそうとしている。 ○円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って、検討しようとしている。 ○三平方の定理を見いだそうとしている。 ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理の利用 ○標本調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

第3学年 「社会」

1. 学習の目標

[歴史的分野]

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊敬する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公平に判断するとともに適切に表現する態度を育てる。

[公民的分野]

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

2. 評価の観点・方法

① 社会的事象への関心・意欲・態度

「社会的事象に関心をもち、よりよい社会のあり方を考える。」 →

授業参加態度、授業道具や提出物、発表・発言
定期テスト、単元テスト、課題の提出など

② 社会的な思考・判断・表現

「社会的事象から課題を見だし、→
考察し、公正に判断する。」

発表・発言、提出物の内容、課題の内容、
定期テスト、単元テストなど

③ 社会的事象についての知識・技能

「各種の資料を効果的に活用し、→
その成果を適切に表現する。」
「社会的事象について理解し、知
識を身に付けている。」

提出物・レポート・課題の内容やまとめ方、
定期テスト、単元テスト、発表・発言など

3. 学習のポイント

- ・教科書などの基本用語(太文字)は、覚える。
- ・他の人の発言や発表はしっかり聞き、班での話し合いや発表に積極的に取り組む。
- ・ノートには、板書を写して書くだけでなく、要点が分かりやすいように工夫し、自分の気づきや調べたことも記入するようにしておく。
- ・提出物の期限は守る。
- ・調べる時は、できるだけ多く資料を集め、その中から必要な部分だけを利用する。
- ・調べたことをまとめ、レポートにする時には、テーマの設定・利用した資料・分かったこと・自分の考えを必ず入れる。また他の人が見て分かりやすいよう工夫する。
 - ・教科書をよく読んで、書いてあることを理解する。
 - ・教科書などで出てきた国名や地名は、必ず地図帳で確認する。
 - ・教科書などで出てきた人名や文化財は、必ず資料集で確認する。
- ・新聞、テレビ、雑誌などの地理・歴史に関することがらに気をつけ、地理や歴史に関する興味や関心を高める努力をする。
- ・新聞やテレビなどのニュースに気をつけ、社会に関する関心や興味をもつように努力する。
- ・基本用語は、書きながら(漢字のものは、正しく漢字で書ける)覚える。

4. 学習内容と学習のねらい




学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○開国と近代日本の歩み ・日清・日露戦争と近代産業 ○二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本 ○現代の日本と私たち ・戦後日本の出発 ・冷戦と日本の発展 ・新たな時代の日本と世界 ○公民学習の初めに ○現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方 	<ul style="list-style-type: none"> ○欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解する。 ○日清・日露戦争、条約改正などを基に我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 ○第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、対外関係や国民の政治感覚が高まったことを理解する。 ○昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、経済の混乱から社会問題、郡部の対等、戦争の勃発から敗戦までの経過に着目して理解する。 ○戦時下の国民生活をなるべく身近に感じるとともに、戦争の惨禍にも目を向ける関心や態度を持つ。 ○第二次世界大戦後の、日本の民主化と債権、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。 ○高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解する。 ○国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持ち、21世紀の社会に期待を抱ける。 ○高度経済成長以降のさまざまな社会的事象の学習を通して、現代社会の成り立ちを概観し、自分が生きている現代社会の特色について 気づく。 ○課題を設けて行う学習などを通して、多面的・多角的な見方・考え方ができる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 ○現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち ○私たちの暮らしと経済 ・消費生活と経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権の考えはどのように発展してきたのか、年表などを通して調べ、短文や図表にまとめる。 ○人間尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深められる。 ○日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりからとらえ、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として認識する。 ○作業・体験学習を通してわが国の民主政治が法にもとづいて行われていることに着目し、国民の政治参加によってよりよい民主政治が運営されていくことに気づく。 ○地方自治の基本的な考え方としくみ、国会を中心とするわが国の民主政治の考え方としくみのあらましについて、地域住民・主権者の立場から理解する。また現代政治の課題を、既習学習を活用して自らの意見をまとめることができる。 ○経済活動の意義を、身近な消費生活を通して理解する。 ○市場経済の基本的な考え方や現代の生産のしくみのあらまし、国や地方公共団体がはたしていることなどについて理解する。 ○事例を通して現実の経済に対する関心を持ち、経済についての見方や考え方の基礎を身につける。 ○様々な資料を読み取ったり、収集、選択した資料をもとに分かりやすくまとめ、表現する活動を通して、経済的な事象をとらえる見方
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本 ○より良い社会を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際社会のかかえている地球的・人類的な課題の内容と、その解決のためにどのような努力がされているか理解する。 ○現代の国際社会に対する関心を高め、さまざまな資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現 できる能力と態度がもてる。 ○世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、各国が相互に主権を尊重し、協力しあうことが重要であることが認識できる。 ○国産社会における日本の役割について考えることができる。

理科の目標

- ・自然に対する関心を高め、観察や実験を、手順をしっかりと確認しながら行い、基本的な器具の操作を習得する。
- ・問題解決に向けて目的をもって観察や実験などを行い科学的に調べる能力や態度を身につける。
- ・身近な自然の事物や現象について理解を深める。
- ・事物や現象について科学的な見方や考え方を身につける。



評価の観点・方法

評価の観点	第1分野	第2分野	評価の方法
○知識・技能 	物質やエネルギーに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生命や地球に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・定期テスト ・発表 ・観察・実験での活動の様子 ・パフォーマンステスト ・実験レポート
○科学的な思考・判断・表現 	物質やエネルギーに関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・観察・実験での活動の様子 ・実験レポート ・定期テスト 
○主体的に学習に取り組む態度	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・発表 ・観察・実験での活動の様子 ・実験レポート ・ノート

「学力」達成目標に関する学習内容

- ・実験・観察器具の使い方を習得し、自ら適切に操作することができる。
- ・実験や観察の記録から結果をまとめ、自然現象が説明できる。
- ・教科書に出てくる基本的な理科の用語の意味が説明できる。
- ・理科で学習する自然の様々な事象を日常生活と関連づけながら理解できる。



中学校3年生の理科では次のような学習をします。

	学 習 す る こ と	学 習 の ね ら い
一 学 期	<p>○化学変化とイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学変化とエネルギー ・酸化と還元 ・エネルギーの利用 ・水溶液と電流 ・電流による水溶液の変化 ・イオン ・水溶液中のイオン 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学変化によりエネルギーの出入りが伴うことを理解し、エネルギーの有効利用について考える。 ○実験を通して電子を帯びた原子(イオン)の存在を知り、電解質・非電解質の違いや電気分解の現象をイオンを用いて考える。 ○電解質水溶液に2種類の金属を入れると電流を取り出せることを実験から見いだす。
	<p>○生物の連続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物と動物の細胞のつくりと特徴 ・細胞の分裂と生物の成長 ・有性生殖と無性生殖 ・遺伝の規則性と遺伝子 	<ul style="list-style-type: none"> ○植物細胞、動物細胞の基本的な特徴を見いだすとともに、細胞分裂を生物の成長と関連付けて捉える。 ○有性生殖と無性生殖の特徴を見いだす。 ○メンデルの遺伝の法則について理解し、遺伝子の伝わり方の規則性を見いだす。
二 学 期	<p>○運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水による圧力と浮力 ・物体の速さと移動距離の関係 ・平均の速さと瞬間の速さ ・2つの物体ではたらく力 ・力を受けた物体の運動 ・斜面を下る台車の運動 ・力を受けない物体の運動 ・水平面上の台車の運動 ・慣性の法則 ・仕事・仕事率・仕事の原理 ・エネルギーとは ・力学的エネルギーの保存 ・エネルギー保存の法則 	<ul style="list-style-type: none"> ○「水圧・浮力」に関して科学的に考察する能力や見方を養う。 ○物体の速さと移動距離の関係を調べ平均の速さと瞬間の速さとの違いを捉える。 ○力を受けた物体の運動や力を受けない物体の運動の様子を調べそれぞれの特徴と規則性を見いだす。 ○慣性の法則についての定義を理解する。 ○理科でいう仕事について理解し、物質の持つエネルギーとは何かを考える。また、常に保存の法則が成り立つことを理解する。
	<p>○地球と宇宙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽の表面の観察 ・星座をつくる恒星 ・太陽と星の1日の動き ・地球の自転 ・太陽と星の1年の動き ・地球の公転 ・季節が生じる理由 ・星座の中の惑星の動き ・金星の見え方 ・月の動きと見え方 ・太陽系外の恒星 	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽の表面の観察を行い黒点の移動から太陽の自転を知る。 ○太陽や恒星の1日の動きや1年の動きを調べ、地球の自転や公転との関連性を理解する。また、季節が地軸の傾きにより生じることを実験から検証する。 ○星座の中の惑星の動きを知り、金星の見え方について理解する。また、月の動きと見え方や日食、月食について理解する。さらに、太陽系外の星の存在を確認する。
三 学 期	<p>○自然環境や科学技術と私たちの未来</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物連鎖 ・土の中の小動物 ・分解者の役割 ・自然界のつながり ・自然の恩恵と自然災害 ・自然と人間とのかかわり ・エネルギーの移り変わり ・エネルギー資源とその利用 ・科学技術の発展 	<ul style="list-style-type: none"> ○食物連鎖の関係を理解し、分解者を含めた自然界のつながりを関連づけて捉える ○身近な環境を調べながら、様々な環境問題に関心を持ち、その原因を探るとともに、解決策を考える。 ○自然から受ける恩恵を認識するとともに自然災害の恐ろしさもはっきり受け止め自然との共生について考える。 ○科学の発展とともに、人間生活に有効な利用方法や諸問題をすすんで考える。

第3学年 「英語」

1 学習の目標

英語や外国の文化に対する理解を深めるとともに、学校・家庭・地域など日常生活の中で、身近な人々と英語で積極的にコミュニケーションを図るための基礎的な力の育成を目標とする。特に3年生では、1・2年生の基礎学習を基に、事実関係を伝えたり、物事を判断したりするなど、コミュニケーションの幅が広がることに留意する。

- ことばの仕組み・意味・働きや言葉の背景にある文化に対する理解を深める。
- 積極的に自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりしようとする態度を身につける。
- 〔聞くこと〕簡単な英語を聞いて、相手が何を伝えようとしているか理解できるようにする。
- 〔読むこと〕簡単な英語を読んで、書き手が何を伝えようとしているか理解できるようにする。
- 〔話すこと(やりとり)〕簡単な英語を使って、自分の考えなどを話すことができるようにする。
- 〔話すこと(発表)〕簡単な英語を使って、自分の考えなどを発表することができるようにする。
- 〔書くこと〕簡単な英語を使って、自分の考えなどを書くことができるようにする。

2 評価の観点、場面・方法

【観点:知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解すると共に、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り・発表)、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。

- 場面:英単語の意味や使い方の発表・異文化理解に関する説明や話し合い・教科書の内容理解・音読
- 方法:授業中の発言や言語活動等の観察・ノート・提出物・音読テスト・小テスト・定期テスト・パフォーマンステスト

【観点:思考・判断・表現】

コミュニケーションを図る場面、目的、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

- 場面:コミュニケーション活動(自由会話・インタビュー等)・英作文・手紙やメール文を書く活動・自己紹介スピーチ・自己表現・英語での説明、質問、応答・パスポート活動
- 方法:授業中の発言や言語活動等の観察・発表の観察・ノート・提出物・小テスト・定期テスト・パフォーマンステスト・教師やALTとの会話

【観点:主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

- 場面:コミュニケーション活動(自由会話・インタビュー等)・英語の歌・パスポート活動
- 方法:授業中の発言や言語活動等の観察・発表の観察・ノート・提出物・音読テスト・小テスト・定期テスト・パフォーマンステスト・教師やALTとの会話

3 学習のポイント

- ①間違いを恐れず積極的にコミュニケーション活動に参加しよう。
- ②ALTの先生との授業は、生の英語に触れることができる貴重な機会なので、わからないときは聞き返し、表現できないときは身振り手振りを使って伝えよう。失敗を恐れず積極的に話しかけることをチャレンジしてみよう。
- ③授業中は進んで挙手や発言をし、わからないところはその場で解決できるようにしよう。
- ④繰り返し学習することを意識し、定着を図ろう。予習(意味調べ)・復習(本文を3回以上音読、本文や単語を書く練習、宿題)を習慣化しよう。小テスト・定期テスト・パフォーマンステストの際に学習の仕方を振り返ろう。

⑤先生の発音やCDの音声をよく聞き、英語独特の発音、リズム、イントネーションを真似してみよう。

⑥教科書の音読をしよう。丸暗記するほど読み込むと、発音もよくなり、単語や細かい表現も頭に入るので挑戦しよう。

⑦楽しむ気持ちを大切にしよう。英語の歌、ゲーム、ペアワーク、グループワーク、スピーチなど、色々な言語活動を楽しみながら英語を身につけよう。

4 学習内容と学習のねらい

学期	月	単元	主な学習内容
1	4	○辞書を使いこなそう	句動詞の引き方
	5	○Program 1 (Bentos Are Interesting!)	ask(tell, want)人 to~の文 It is ~ to...の文 主語+be 動詞+形容詞+that~の文
		○Program 2 (Good Night, Sleep Tight)	主語+動詞+人+疑問詞節 主語+動詞+人+that 節
	6	○Program 3 (A Hot Sport Day)	主語+動詞+目的語+補語(名詞・形容詞) 主語+動詞+目的語+動詞の原形 の文
		○Reading 1 (Faithful Elephants)	
	7	○Program 4 (Sign Languages, Not Just Gestures)	分詞の後置修飾の用法(現在分詞・過去分詞)
	2	9	○Program 5 (The Story of Chocolate)
10		○Program 6 (The Great Pacific Garbage Patch)	関係代名詞(目的格 which・that・省略)
11		○あなたの町を世界にPRしよう	これまでの復習
12		○Program 7 (Is AI a Friend or an Enemy?)	仮定法過去 I wish+主語+仮定法過去の文
		○Reading 2 (Malala's Voice for the Future)	
3	1	○中学校の思い出を残そう	これまでの復習
	2	○Reading The Ig Nobel Prize Library Lion	これまでの復習

全学年 「技術・家庭科」

1 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

2 評価の観点・方法

技術・家庭科は、「技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力」、「生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについての基礎的な理解と、それらに係る技能」等の観点で評価します。

①知識・技能

実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主にレポート、学習プリント、テストなどを評価します。実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうか評価します。主に学習経過における技能の習熟状況、完成した作品の状況などにより多面的に評価します。

②思考・判断・表現

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を評価します。主に課題解決策を構想し、製作図などの表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなどのより、多面的に評価します。

③主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度などを重視して評価します。主に作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取り組み状況、学習プリント・ノートや作品の提出状況、レポートや家庭での実践記録などを評価します。

3 学習のポイント

○学習した内容を実際の生活で活かす場面を設定し、自分の生活が社会と関わっていることや、自分が社会に参画し貢献できる存在であることを認識する。

4 学習内容と学習のねらい

「技術分野」

A 材料と加工の技術

- (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術
- (2) 材料と加工の技術による問題の解決
- (3) 社会の発展と材料と加工の技術

B 生物育成の技術

- (1) 生活や社会を支える生物育成の技術
- (2) 生物育成の技術による問題の解決
- (3) 社会の発達と生物育成の技術

C エネルギー変換の技術

- (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術
- (2) エネルギー変換の技術による問題の解決
- (3) 社会の発達とエネルギー変換の技術

D 情報の技術

- (1) 生活や社会を支える情報の技術
- (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決
- (3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
- (4) 社会の発展と情報の技術

「家庭分野」

A 家族・家庭生活

- (1) 自分の成長と家族・家庭生活
- (2) 幼児の生活と家族
- (3) 家族・家庭と地域との関わり
- (4) 家族・家庭生活についての課題と実践

B 衣食住の生活

- (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- (3) 日常食の調理と地域の食文化
- (4) 衣服の選択と手入れ
- (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- (6) 住居の機能と安全な住まい方
- (7) 衣食住の生活についての課題と実践

C 消費生活・環境

- (1) 金銭の管理と購入
- (2) 消費者の権利と責任
- (3) 消費生活・環境についての課題と実践

3年生「美術科」シラバス

教科の目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
評価について	<p>【評価の観点】</p> <p>1 知識・技能</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【評価の方法】</p> <p>1 授業中の取り組みの様子、発言、表情、対話などから、評価する</p> <p>2 作品から、発想の過程や制作の手順、思いや意図の変容を評価する</p> <p>3 制作カードや作品カードの記述から、生徒自らが、授業のねらいや課題を振り返り自己評価などを評価する</p>	学習の進め方	<p>1 様々な用具や素材（紙・木・石・金属・粘土など）を扱い、つくる楽しさを味わう。</p> <p>2 造形活動への興味・関心を高め、楽しく美術活動に取り組む。</p> <p>3 いろいろな作品づくりの中で、個性を生かし、自ら学ぶ姿勢が身に付くように試行錯誤し、学習する。</p> <p>4 「表現」及び「鑑賞」の中で、形や色彩、材料、光などの性質、それらが感情にもたらす効果などを理解する。造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p>

3年間の学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 美術について、授業の約束などを学ぶ。 ・「心ひかれる木」 (絵画) ・「燃え上がる黄色は希望の光～ゴッホ～」 (鑑賞) ・「創作文字を描こう」 (デザイン・工芸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 授業の約束などを確認する。 ・「私の大切なもの」 (絵画) ・「ゲルニカを味わう～ピカソ～」 (鑑賞) ・「ポスター (視覚伝達デザイン)」 (デザイン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 授業の約束などを確認する。 ・「友達 一切り絵」 (絵画)
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「材料を生かして 一割り箸造形」 (彫刻) ・「編んで作る小物入れ」 (紙工芸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「輝く私の一場面」 (彫刻) ・「カッティングカレンダー」 (デザイン・工芸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「抽象彫刻にチャレンジ」 (彫刻) ・「サクラダファミリア教会～アントニ・ガウディ～」 (鑑賞)
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「お地蔵様を描こう(墨)」 (絵画) ・「墨とパステルのハーモニー」 (絵画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生き生きとした動物・昆虫を描こう ―スクラッチ―」 (絵画) ・「興福寺阿修羅像 祈りの造形～修学旅行に向けて～」 (鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4×4模様のデザイン」 (デザイン・工芸) ・「サラエボの光～平山郁夫～」 (鑑賞)

第3学年

「保健体育」

1 学習の目標			
①進んで運動に親しみ、心身ともにたくましい人になろう。 ②運動の持つ特性にふれ、運動技能を高めて、運動の楽しさや喜びを味わおう。 ③安全に気をつけ体力の向上を図ろう。 ④ルールやマナーを守り、仲間と協力して活動しよう。			
2 評価の観点・方法 <u>保健体育では、次の3観点で評価します。</u>			
①運動や健康に関する「知識・技能」 (運動の意義を理解し、健康・安全に関する知識と必要な技能や体力を高めるための運動の行い方を身につけている。)	○時間やルール、服装等の約束を守る。 ○大きな声を出し、活気あふれる行動ができる。(準備運動から終りの挨拶まで) ○体育5点セットを体育バックに入れ、はちまきを忘れない。	○授業態度(取り組みの様子) ○自分の能力にあつためあてをもつ。 ○練習の仕方を考えたり、実技体育の資料を活用したり、工夫している。	
②運動や保健課題の発見・解決等のための「思考・判断・表現」 (運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫している。)	○学習カードや個人カードの記入や提出。 ○実技テストや発表会・記録会 ○定期テスト		
③主体的に学習、健康の保持増進や回復に取り組む態度等の「主体的に学習に取り組む態度」 (進んで運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得しようとしている)			※試験は当日のみ。種目によっては後日参考
3 学習の内容と学習のねらい			
学期	学 習 内 容		
	1 学年	2 学年	3 学年
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・集団行動 ・新体力テスト ・体づくり運動 ・体育祭に向けて ・ダンス(ソーラン) ・陸上(短距離・リレー) ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・体育理論 ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・集団行動 ・新体力テスト ・体づくり運動 ・体育祭に向けて ・ダンス(ソーラン) ・陸上(短距離・リレー) ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・体育理論 ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・集団行動 ・新体力テスト ・体づくり運動 ・体育祭に向けて ・ダンス(ソーラン) ・陸上(短距離・リレー) ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・体育理論 ・保健
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・陸上(ハードル・走幅跳) ・器械運動(マット) ・陸上(長距離走) ・体づくり ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・陸上(ハードル・走幅跳) ・器械運動(跳び箱) ・陸上(長距離走) ・体づくり ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり ・球技(ソフトボール・バレーボール) ・陸上(ハードル・走幅跳) ・器械運動 or 球技(跳び箱・ハンドボール) ・陸上(長距離走) ・体づくり ・保健
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・球技(サッカー・バスケットボール) ・武道(柔道) ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・球技(サッカー・バスケットボール) ・武道(柔道) ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・球技(サッカー・バスケットボール) ・保健

令和8年度 3年 音楽科		年間計画		時	
学習の目標 (1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽に関する感性を豊かにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3)多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。	4月	・歌唱「花」 ☆広く親しまれている日本の歌を味わい、愛好する心情を持ちます。	2		
	5月	・鑑賞 尺八「巢鶴鈴暮」 能「敦盛」 ☆日本の伝統音楽に触れ、日本の音楽の美しさを味わいます。	3		
	6月	・歌唱「帰れソレントへ」 ☆曲想を生かして表情豊かに歌えるようにします。	4		
	7月	・学年合唱曲	3		
	9月	・クラス合唱曲	11		
	10月	・全校合唱曲 ☆様々な合唱曲を鑑賞しその良さを味わいます。響きのある声で美しいハーモニーを創りあげて学ぶことを学びます。他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、表現を工夫することを学びます。クラスの友達と曲の歌詞について話し合い、理解を深め、より伝わるよう工夫をしていきます。	2		
	11月	・鑑賞「ブルタバ」 ☆音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わいます。 ☆オーケストラの多様な楽器の組み合わせにより醸し出される雰囲気を感じ取り、その良さを言葉で説明するようにします。	2		
	12月	・鑑賞「世界の諸民族の音楽・ポピュラー音楽」 ☆世界の民族音楽、様々なジャンルの音楽からそれぞれの特徴を感じ取り、多様な音楽を理解して味わいます。	3		
	1月	・鑑賞「アイダ」 ☆オペラの特徴とほかの芸術との関連に関心を持ち、その音楽を味わいます。	5		
	2月	・三年生を送る会 「旅立ちの日に」 ・3学年合唱 ☆充実した式にふさわしい合唱となるよう意欲を持って取り組み、聴く人に感謝の気持ちを伝えます。	3		
	3月				
	評価の観点 ○知識・技能 ・楽譜の内容を理解し表現できる。 ・楽器の基礎的な奏法を理解し演奏できる。 ・曲にふさわしい声の表現を工夫して歌える。 ○思考・判断・表現 ・思いや意図をもって表現しようとしている。 ・自分の発想を生かした創作活動しようとしている。 ・楽曲の雰囲気や曲想の変化を聴き取ることができる。 ・音楽の背景となる文化歴史とかかわらせて聴き取ることができる。 ・わが国の楽器の音色と奏法を理解できる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・授業に必要な教材などを忘れずに用意し、進んで学習しようとする。 ・歌唱及び器楽の表現活動や鑑賞活動に意欲的に取り組んでいる。 ・音楽のよさや美しさについて関心を持とうとしている。				
	学習の特色 ○言語活動の充実を図る。 ○合唱・器楽・鑑賞・創作等の活動を通して、様々な音楽に対する理解を深め親しむようにする。				
		授業時数合計	35 時間		

♪心がけてほしいこと

姿勢を良くしましょう。挨拶、返事をはっきり言いましょう。歌うことが基本です、しっかり声を出しましょう。

道徳教育とは道徳の時間をはじめとして、学校の教育活動全体で、豊かな人間性を育てるものです。

道徳教育の目標

- (1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う
- (2) 豊かな心をはぐくむ
- (3) 伝統的な文化を継承し、発展させ、更に個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する
- (4) 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する
- (5) 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する
- (6) 未来を拓く主体性のある日本人を育成する
- (7) 道徳性を養う

具体目標（「規律ある態度」達成目標との関わり）

- ① 心のこもった挨拶、正しい言葉遣い、時間を守ることのできる生徒の育成
- ② 自分に厳しく、他人を思いやる心をもった生徒の育成
- ③ 清掃活動、緑化活動に一生懸命取り組む生徒の育成
- ④ 自分の可能性を信じ、夢や希望を持って将来の生き方について考えることのできる生徒の育成
- ⑤ 地域の一員として地域の活動に積極的に参加できる生徒の育成

道徳の時間の指導計画

月	道徳の時間（主題名）	行事等	月	道徳の時間（主題名）	行事等
4	〈調和のある生活〉 〈自ら考え判断し、責任を持つ〉	・入学式 ・始業式 ・対面式 ・離任式	10	〈充実した生き方を求めて〉 〈責任ある誠実な生き方〉 〈社会の秩序と規律〉 〈命の重さ〉	・生徒会役員選挙 ・中間テスト ・合唱コンクール
5	〈差別や偏見のない社会の実現〉 〈かけがえのない命〉 〈自然環境と人類〉 〈住みよい社会と権利〉	・新体力テスト ・中間テスト ・体育祭	11	〈進んで社会と関わって〉 〈互いの個性の尊重〉 〈美しいものへの畏敬の念〉 〈高め合う友情〉	・市内音楽会 ・ふれあい講演会 ・期末テスト
6	〈未来を創造する〉 〈よりよい社会をつくるために〉 〈気高く生きようとする心〉 〈共に成長する〉	・開校記念日 ・生徒総会 ・学校総合体育大会（部活動）	12	〈正義と公正さを重んじる〉 〈地域に根付いた文化の継承〉 〈真理を求めて生きる〉	・人権週間 ・終業式
7	〈それぞれの立場の尊重〉 〈郷土の発展に努める〉	・期末テスト ・終業式	1	〈場に応じた礼儀〉 〈自他の生命の尊重〉 〈よりよい校風をつくる〉	・始業式
8			2	〈深い人間愛〉 〈立ち向かう勇気〉 〈勤労を通じた社会貢献〉	・学年末テスト
9	〈温かな思いやり〉 〈望ましい生活習慣〉 〈よりよい国際協力の形〉 〈家族の絆〉	・始業式 ・避難訓練 ・体験学習会	3	〈世界の平和に貢献する〉 〈生きることの喜び〉	・三年生を送る会 ・卒業式 ・修了式

1. 目標

＜特別活動の目標＞

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、
様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさ
や可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決
することを通して、次のとおり資質・能力を育成するこ
をを目指す。

＜学級活動＞

学級や学校での生活をよりよくするための課題を
見だし、解決するために話し合い、合意形成し、
役割を分担して協力して実践したり、学級での話し
合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を
描くために意思決定して実践したりすることに、自
主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力
を育成することを目指す。

＜生徒会活動＞

異年齢の生徒同士で協力し、学
校生活の充実と向上を図るための
諸問題の解決に向けて、計画を立て
て役割を分担し、協力して運営す
ることに自主的、実践的に取り組
むことを通して、資質・能力を育
成することを目指す。

＜学校行事＞

全校又は学年の生徒で協力し、
よりよい学校生活を築くための
体験的な活動を通して、集団へ
の所属感や連帯感を深め、公共
の精神を養いながら、資質・能
力を育成することを目指す。

2. 特別活動の指導計画

月	活 動		行事等	月	活 動		行事等
4	◎自己紹介 ◎学級の係、委員会決め ◎学級目標、個人目標決め ◎掲示物作成	学級活動委員会	入学式 始業式 対面式 離任式	10	◎合唱コンクールに 向けて ②修学旅行に向けて ①スキー林間に向けて ◎合唱コンクールの 振り返り	学級活動委員会	新人体育大会 生徒会役員選挙 合唱コンクール 中間試験
5	①～③体育祭 ◎体育祭選手決め ◎学級旗作成 ◎定期試験の学習計画	学級活動委員会	新体力テスト 中間テスト 体育祭	11	②修学旅行に向けて ①スキー林間に向けて ◎定期試験の学習計画	学級活動委員会	市内音楽会 ふれあい講演会 期末試験
6	◎学校総合班大会に向けて ①③校外学習に向けて ②社会体験チャレンジに 向けて	学級活動委員会	壮行会 開校記念日 生徒総会 学校総合体育大会	12	②修学旅行に向けて ①スキー林間に向けて ◎2学期を振り返って	学級活動委員会	終業式
7	①③校外学習の振り返り (②社会体験チャレンジ) ◎定期試験の学習計画 ◎1学期を振り返って	学級活動委員会	期末テスト 終業式	1	◎新年の抱負、個人目標決め ①②③送会に向けて ②修学旅行に向けて ①スキー林間に向けて	学級活動委員会	始業式 修学旅行
8	夏休み			2	③県公立入試に向けて ①②③送会に向けて ◎定期試験の学習計画 ①②進級に向けて	学級活動委員会	スキー林間 学年末試験 県立高校入試
9	②チャレンジ報告書作成 ◎個人目標決め ◎体験学習 お礼状書き ◎合唱コンクールに向けて	学級活動委員会	始業式 体験学習 (資源回収)	3	③卒業式に向けて ◎1年間を振り返って	学級活動委員会	三年生を送る会 卒業式 修了式

令和8年度 総合的な学習の時間 シラバス

1. 目標

自分の生活と地域の人、もの、ことに関わる事柄を探究することを通して、協動的によりよく課題解決に取り組み、自己の生き方を考えよう。

2. 評価の観点・方法

○評価の観点

よりよく問題を解決する資質や能力・学び方やものの考え方

主体的、創造的、協動的に取り組む態度・自己の生き方に関する考え方や態度

○評価の方法

話し合いや発表の様子など活動状況の観察・ワークシート、レポート、制作物

自己評価や振り返りシートの内容 等

3. 学習のポイント

○南中学校の総合的な学習の時間と CT（チャレンジタイム）では、探究のプロセス『課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現』を、学校行事と関係させながら繰り返して行います。仲間と協力しながら積極的に活動に取り組むことを心がけてください。まわりの人と協力して課題解決をすることは、生きる上でとても大切なことです。

○自分が考えたことや発見したことなどを、自己評価や振り返りシートで記録に残すことを大切にしてください。自分の生き方を考える上で役立ちます。

4 学習内容とねらい

1年：職業と自己の生き方（1、2学期）

仲間との絆（主に2学期・合唱コンクールと関連）

鴻巣市と他の地域の魅力発見（2、3学期・スキー林間学校と関連）

2年：職業と自己の生き方（1、2学期・社会体験チャレンジと関連）

仲間との絆（主に2学期・合唱コンクールと関連）

日本の伝統文化の魅力発見（主に2、3学期・修学旅行と関連）

3年：職業と自己の生き方（主に1、2学期・進路選択と関連）

仲間との絆（主に2、3学期・合唱コンクールや卒業プロジェクトと関連）

地域社会のためにできること（3学期）